

特別支援教育における金融教育の取り組み

小金井俊夫 尾高邦生 吉澤洋人 小島啓治
神谷千恵子 池尻加奈子 川井優子 高橋由佳 伊藤友彦

I はじめに

東京学芸大学附属特別支援学校は、東京学芸大学・みずほフィナンシャルグループ金融教育共同プロジェクトに昨年度より参加し、「特別支援教育における金融教育」というテーマで研究・実践的検討を行ってきた。特別支援教育への転換期であるこの時期に、金融教育を、支援を必要としている子どもたちにどうなげかけていくかは、特別支援教育の内容的検討という意味において重要なものであると考える。それは、この子どもたちが、社会の中でどのように生きていくかを考える契機であり、そのためにどのような学習内容を学校として与えられるかを考える機会でもあると思うからである。今回の報告は、金融教育を、知的障害を主たる対象とする特別支援学校高等部の中・軽度の生徒への「くらしづくり」のための学習の一環としてとらえ、この1年半の間に本校で検討してきた内容と授業実践について報告するものである。

1. 研究の課題

研究の課題を次のように設定した。

- ①金融教育の指導内容の検討： 高等部の中・軽度生徒を対象とした金融教育の指導内容のモデルを作成する。
- ②テキスト、指導案集の作成： 上記指導内容を元にしたテキストや指導案集を作成する。
- ③授業づくり： 指導内容の検討のための授業を行う事を通して、授業づくりのポイントを明らかにする。

2. 特別支援教育における金融教育の指導内容

昨年度の主な検討内容のひとつは、特別支援学校高等部における「金融教育の指導内容」についてである。「特別支援教育における金融教育」を知的障害を主たる対象とする特別支援学校高等部における中・軽度生徒への「くらしづくり」ための学習ととらえた時、その内容は大きく二つに分けることができる。そのひとつは、生徒達が卒業後の生活の中で出会う具体的な場面の中で必要となる知識や行動の学習である。例えば旅行などの計画の立て方や予算についてであり、また、銀行の利用の仕方や、金銭管理の方法などである。もうひとつは、より社会的事象に関心を深め、社会で起こっていることが理解できるようになっていくための知識である。例えば年金についてであり、流通や物の値段についての知識などである。本研究では、これらの学習を「わたしたちのくらしとお金」という名称でまとめ、上記分類の前者を「くらしとお金」、後者を「社会と経済」という名称でまとめた。資料1が「わたしたちのくらしとお金」の指導内容の一覧である。詳しくは昨年度の本校の紀要「東京学芸大学附属特別支援学校研究紀要No.5.2」を参考にしていきたい。

3. 生徒用テキストや指導案集の作成について

今年度の主な検討内容のひとつが生徒用テキストの作成である。テキスト「くらしとお金」は、「わたしたちのくらしとお金」という名称でまとめた「特別支援教育における金融教育の指導内容」（以下「指導内容」）の内の前半「くらしとお金」の部分を生徒用のテキストとしてアレンジしたものである。「指導内容」が特別支援学校高等部の中・軽度の生徒を対象としているように、このテキストも同じ生徒達を対象として構成している。テキストは、「指導内容」の前半「くらしとお金」を構成している5つの内容に「はじめに」と「おわりに」をつけた全7章で構成されている。内容としては、「くらしとお金」に盛り込まれた内容の導入の部分でまとめたものと捉えていただければと考えている。また、いくつかの節に1ページのワークシートを配している。各学校等で使用される場合には、これらの点を考慮して頂き、それぞれの授業の対象者の状況等に応じ、また、必要な内容に関してさらに掘り下げて授業を行って頂きたいと考えている。ワークシートについてもそのまま使ってもかまわないし、ひとつの参考としてさらに生徒たちに合わせた工夫をしていただければ、とも考えている。

また、指導案集については、現在検討を重ねている段階で、作成には至っていない。

4. 授業づくり

授業づくりについては、高等部の「くらし」の時間に軽・中度の生徒を中心とした1～2グループで継続的に行ってきた。その中では、次のようなテーマでの研究授業も行った。

2007年 7月 外出の計画とお金の使用について : 計画的なお金の使用

7月 小遣い帳をつけよう : 計画的なお金の使用

10月 ATMの利用の仕方 : 金融機関の利用

10月 印鑑や通帳の扱い : 安心なくらし

2008年10月 ATMの利用について : 金融機関の利用 (資料2～5)

これらの授業づくりの中で、次のことを授業づくりのポイントとしてあげることができた。

◎授業を組み立てるにあたってのポイント

- ①生徒の主体性を重視する。
- ②現実的な場面を経験するとともに、将来の自分の生活を想像させる。
- ③生徒に身近な、また具体的な話題から考えさせ、具体的な内容や教材を準備する。
- ④現在の生活や将来の生活への見通しを持たせ、学習内容を自分のもの(こと)としてとらえられるようにする。
- ⑤必ず「困ったとき」の対応を教える。
- ⑥1つの授業に1つ以上のワークシートを準備し、時間内にまとめさせる。
- ⑦必要に応じて生徒の生活状況などの情報を保護者から得ておく。
- ⑧ゲストティーチャーなども有効に利用する。

5. 今後の課題

今後の課題としては以下のことがあげられる。

- ①「わたしたちのくらしとお金」の指導内容に関わる授業展開例の作成。
- ②「社会と経済」の学習内容の検討と授業づくり。

資料1 「わたしたちのくらしとお金」の指導内容

1. 目標

- ①金銭に関する生活に必要な知識と技能を身につけ、今の生活にいかすとともに、将来の生活について考えることができる。
- ②将来の生活の主体者として、金銭管理の方法など生活に必要な金銭に関わる事柄を考えることができる。
- ③金銭に関する身近な事柄や、将来必要になるであろう事柄に関心を持ち、自分の将来の生活を想定する中でその内容や必要性について考えることができる

2. 内容

- 1) 身近な金銭管理や生活設計 (分野：くらしとお金)
 - ・計画的な金銭の使用
 - ・金融機関や社会資源の利用
 - ・金銭管理・生活設計
 - ・消費者教育・危機回避
 - ・支援機関や支援者の利用
- 2) 社会や経済に関する知識と理解 (分野：社会と経済)
 - ・収入・労働と賃金
 - ・税の徴収と国の支出
 - ・年金とその問題
 - ・流通と経済についての基礎知識
 - ・貨幣の種類と価値
 - ・お金に関する犯罪とその予防

3. 具体的内容と指導の展開

1) くらしとお金

内 容	ね ら い	学習の展開 (例)	学 習 内 容
上手にお金を使おう (計画的な 金銭の使用)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に関わる金銭的事象に関して金銭の使用に関する計画の立て方や上手なお金の使い方を身につける ・金銭を計画的に使うことの大切さを知り、行動できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物をしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活に必要なものは何 ・生活に必要なものが売っている場所 ・いろいろな買い物の仕方 ・買い物の際に気をつけること ・かしこい買い物の仕方
		<ul style="list-style-type: none"> ・外出をしよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・外出の計画を立てよう ・外出に必要な費用は ・楽しく外出するために
		<ul style="list-style-type: none"> ・高いものを 買いたいときは 	<ul style="list-style-type: none"> ・高いものを買いたいときはどうする ・お金を計画的に貯める ・相談しながら考えよう
		<ul style="list-style-type: none"> ・こづかい帳を つけよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・こづかい帳をつけてみよう ・費目について ・こづかい帳の上手な使い方
銀行や 郵便局に行こう (金融機関や 社会資源の利用)	<ul style="list-style-type: none"> ・金融機関の役割について知る ・金融機関の利用方法を知り、利用の方法を身につける ・金融機関等の利用の際に気を付けなければならないことがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・銀行や 郵便局の役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・銀行や郵便局でできること ・金融機関に行ってみよう ・預金や貯金、預貯金の目的 ・給与振り込み
		<ul style="list-style-type: none"> ・預金や 貯金について 	<ul style="list-style-type: none"> ・預金や貯金の仕方 ・通帳を作ろう ・キャッシュカードについて ・キャッシュカードを 使ってみよう

		<ul style="list-style-type: none"> 金融機関の便利な使い方 	<ul style="list-style-type: none"> 給与振り込み 自動引き落としの使い方と注意 クレジットカード
		<ul style="list-style-type: none"> 銀行や郵便局を使うときの注意 	<ul style="list-style-type: none"> 通帳や暗証番号の扱い方 キャッシュカードや暗証番号の注意
卒業後の暮らし (生活設計・金銭管理)	<ul style="list-style-type: none"> 卒業後の生活について考えることができ、金銭面で必要な知識を身につけることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 将来の生活について考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業したら・・・(将来を考える) どんな暮らしがしたい(将来の希望、住まいなどの暮らし方の実際) 仕事と給料 暮らし方のいろいろ(1日、1週間、1ヶ月、1年の生活) 趣味を持とう(豊かなくらしのために)
		<ul style="list-style-type: none"> 収入と支出 	<ul style="list-style-type: none"> ひとりぐらしに必要なお金 仕事と給料 自分のくらす場所 収入・支出ってなに 支出の費目 年金について 税金について
		<ul style="list-style-type: none"> 生活費について知ろう 	<ul style="list-style-type: none"> 生活費の内訳は いくらくらいかかるかな 自分の生活について考えよう
		<ul style="list-style-type: none"> 家計簿をつけよう 	<ul style="list-style-type: none"> 家計簿の費目 自分にあった家計簿 家計簿をつけてみよう
		<ul style="list-style-type: none"> 自分にあったお金の管理 	<ul style="list-style-type: none"> お金の管理って何 自分だったらどうしよう 自分にあった金銭の管理
		<ul style="list-style-type: none"> 自分のしたい将来のくらし 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の目指す将来のくらし 仕事と収入 生活のためのお金 将来のためにがんばること
安心なくらし (危機回避、消費者教育)	<ul style="list-style-type: none"> プリペイドカードやクレジットカード、その他の新しいお金についての知識や、適切な使い方がわかる キャッチセールス等お金に関する危険についての知識を持ち、危機回避の方法がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> 銀行や郵便局を使うときの注意 	<ul style="list-style-type: none"> 通帳や暗証番号の扱い方 キャッシュカードや暗証番号の注意
		<ul style="list-style-type: none"> お金の危険 	<ul style="list-style-type: none"> どんな危険があるのだろうか 悪徳商法 キャッチセールス 通信販売の危険 インターネットの危険 携帯電話をかしこく使おう 個人情報について 印鑑の使用や暗証番号の扱い 危険の回避 被害者になったら 加害者にならないために

困ったときには (支援機関や 支援者の利用)	<ul style="list-style-type: none"> ・お金に関してどんなことで困ることがあるかを理解し、その対処方法がわかる ・支援機関や支援者の存在がわかり、その利用方法を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・困った時って どんなとき 	<ul style="list-style-type: none"> ・困った時ってどんなとき ・困った時はどうしたらいい
		<ul style="list-style-type: none"> ・支援機関や 支援者の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援機関って何だろう ・支援機関や支援者の利用の仕方 ・私が見える支援機関 ・サポーターズサークル について

2) 社会と経済

内 容	ね ら い	学習の展開 (例)	学 習 内 容
給料 (工賃) について (収入・労働 と賃金)	<ul style="list-style-type: none"> ・労働と賃金に関する基本的知識を身につける ・卒業後の生活を考えながら、自分仕事や給料の使い方を考えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と給料 	<ul style="list-style-type: none"> ・給料はいくら? ・働くことと給料
		<ul style="list-style-type: none"> ・給与明細の見方 	<ul style="list-style-type: none"> ・給料の中身は何だろう ・給料明細を見てみよう
税金って何だろう (税の徴収と 国の支出)	<ul style="list-style-type: none"> ・税金やその使われ方についての基本的知識を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・税金の仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・税金って何? ・どんな税金があるの? ・税金の払い方、戻し方
		<ul style="list-style-type: none"> ・税金の使われ方 	<ul style="list-style-type: none"> ・国の財政と税金 ・税金の使われ方
年金について (年金とその問題)	<ul style="list-style-type: none"> ・年金についての基本的知識を身につける ・年金の支払い方や年金の受け取り方がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・年金ってなに 	<ul style="list-style-type: none"> ・年金って何? ・年金の仕組み ・障害基礎年金について
		<ul style="list-style-type: none"> ・年金の支払い方 	<ul style="list-style-type: none"> ・年金はどこで支払う? ・年金についての注意
		<ul style="list-style-type: none"> ・年金を受けるには 	<ul style="list-style-type: none"> ・年金をもらえるかな? ・年金の手続きの仕方
値段の仕組み (流通と経済)	<ul style="list-style-type: none"> ・ものの流通や値段の決め方などに関する基本的知識を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ・値段は どうやって決まる 	<ul style="list-style-type: none"> ・物には値段がある ・値段はどうやって決まる?
		<ul style="list-style-type: none"> ・流通の仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・流通って何のこと? ・品物の動き方と値段
日本のお金、 外国のお金 (貨幣の種類と 価値)	<ul style="list-style-type: none"> ・貨幣の種類や価値についての基本的知識を身につける ・外国の貨幣やその価値について理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のお金、 外国のお金 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国のお金はどんな物? ・日本のお金と比べてみよう
		<ul style="list-style-type: none"> ・外国に行く時には 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国に行く時の注意 ・外国に行った時の注意
お金と犯罪 (犯罪とその予防)	<ul style="list-style-type: none"> ・お金に関わる犯罪についての基本的知識を身につける ・被害者にも加害者にもならないためにどのようにすることが必要かがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪って何 	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪って何だろう ・犯罪を犯すとどうなるの?
		<ul style="list-style-type: none"> ・お金に関わる犯罪 	<ul style="list-style-type: none"> ・お金に関わる犯罪って どんなこと? ・お金の偽造 ・被害者や加害者に ならないために

資料 2

授業展開例 1		「金融機関の利用：ATMを使おう①」	
対 象	高等部全学年	時 間	(1/2) 時間
目 標	○給料の受け取り方について知る。 ○ATMの操作手順についてマニュアルをみて確認することができる。		
準備物	モニター、ATM操作マニュアル、模擬ATM、ワークシート、お金、練習用キャッシュカード		
授業のポイント			
指導内容のポイント	「ATMを使おう」を全2回で計画。 第一回 ATMを使おう①～お引きだし編～←本時 第二回 ATMを使おう②～ATMの利用マナー編～ 今後、生活の中で実際に利用することを想定し必要な指導内容を抽出する →給与の銀行振り込み→ATMの操作：「お引出し」の操作のみ取り扱う		
授業展開上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 生活のなかでの銀行について想像できるように、給与袋・給与明細表をみせる。 実技の前に、操作方法、手順を確認。 実技体験前に操作方法、手順をおさえ、次時の授業での体験に期待感をもたせる。 		
ゲストティーチャーの利用	なし		
ワークシートのポイント	<ul style="list-style-type: none"> 実際に銀行に行くとき、参考になるよう配慮した。 ATM操作マニュアルはラミネートをし、今後必要なときに活用できるようにした。 		
ワークシート(例)			

展 開 例

学習活動	指導内容	留意点
<p>挨拶をする。</p> <p>本時の学習内容について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・号令にあわせてあいさつをすることができる。 ・給料の引き出し方について学ぶことを知る。 ・銀行、キャッシュカード、ATMについて思い出すことができる。 	<p>キャッシュカードについて質問をし、生徒の実態をつかむ。(知っているか・もっているか・使ったことがあるか。等)</p>
<p>給料の受け取り方法について知る</p> <p>ATMについて知る。 (便利さ、手順)</p> <p>キャッシュカードについて知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後、働き給料をもらうことを想像する。 ・給料の受け取り方法について知る。 →銀行ふりこみ・直接手渡し ・ 利便性、留意点について知る。 ・ お金をおろす際にはATMが便利*であることを知る。 * 場所：コンビニ、駅、銀行併設 * 時間：窓口との時間の違い ・ 本時では「お引出し」について学ぶことを知る。 ・ ATMでお金をおろすときには、キャッシュカードと暗証番号が必要であることを知る。 	<p>ST:ワークシートにそって板書する。</p> <p>給与明細表・給与袋の提示 (給料10万円とする)</p> <p>・昨年度のワークシートを参考にする。</p> <p>ST:板書する。</p>
<p>ATMの操作手順を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員の例示を注視することができる。 ・ ATMの操作手順について操作マニュアルをみながら確認することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 操作マニュアルを配る。 <p>MT：模擬ATMで例示 ST：ATM操作</p>
<p>まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給料は銀行に振り込まれること ・ ATMでおろす際にはキャッシュカード、暗証番号が必要であること ・ おろす時には「お引出し」をおすこと ・ 困ったときにどうすればいいのか 板書をみながら、ワークシートに書きこむことができる。 	<p>ワークシートを配る。</p> <p>巡回し、個別に指導する。</p>
<p>次回の学習内容について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回は自分で模擬ATMを体験することがわかる。 ・ キャッシュカードをみて期待感をもつことができる。 	<p>ST:キャッシュカードを配布→回収</p>
<p>挨拶をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 号令にあわせてあいさつをすることができる。 	

資料 3

授業展開例 2		「金融機関の利用：ATMを使おう②」	
対象	高等部全学年	時間	(2/2)時間
目標	○ATM利用する際の留意点・注意点を知る ○キャッシュカード、暗証番号の管理について知る		
準備物	黒板掲示用ATMマナーカード、ATM操作マニュアル、模擬ATM、宿題ワークシートキャッシュカード		
授業のポイント			
指導内容のポイント	「ATMを使おう」を全2回で計画。 第一回 ATMを使おう①～お引きだし編～ 第二回 ATMを使おう②～ATMの利用マナー編～←本時 第一回授業での質問事項とその回答を「ATMマナーカード」にまとめ、利用の注意点を知るとともに、実際に模擬ATMの操作を体験する。		
授業展開上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の質問から「ATMマナーカード」を作り、注意点をしる。 ※「マナーカード」は専門家（銀行員）の回答に基づく 模擬ATMと用い、すぐに実地することで意識化する。 困った時の対応について、「誰に」頼めるかを確認する。 		
ゲストティーチャーの利用	前時の質問に対する回答をお願いする（文書でのやり取り）		
ワークシートのポイント	<ul style="list-style-type: none"> 「マナーカード」は大きく3点からまとめる ※「暗証番号・キャッシュカードの扱い」「ATMコーナーのマナー」「困った時は？」 ラミネートした操作マニュアル（※昨年度のもの・改良点があれば改良する予定）をつかい、今後も必要なときに活用できるようにした。 		

ワークシート（例）

ATM「マナーブック」

暗証番号について

覚えやすい番号
 生年月日(せいねんががつひ) → たんじょうび(0720)
 電話番号(でんわばんごう) → [0265]
 「同じすうじ」や「つづきのばんごう」 → [1111] [1234]
 ほかの暗証番号(ほかにあんしょうばんごう) → 携帯電話など

ワンポイント アドバイス!

番号を決めたら、メモしておく
 キャッシュカードとはべつべつ
 に大切にしまっておく

ATMでならんでいるとき

しずかにならんでまっ

お金をおろすときは
 待つことが大切です。あわてないで待つ。

わからないときは？ → ATMの限り(かぎ)をみる

それでも、こまったら・・・

ポイント1

- 銀行の人に聞こう!
- ※ATMコーナーには、銀行の人がいます

ポイント2

- ATMの電話で聞こう!
- ※銀行の人が教えてくれます

ポイント3

- 携帯電話は使わない!
- 家の人に聞きたいときは、銀行の外に出ましょう

くらしき 月 日 名前

目標 (めいどく) ATMが使えるように準備しよう

暗証番号 (あんしょうばんごう) を決めよう!

自分だけの
4けたの数字

○ ○ ○ ○

友達、学校のATMをみんなで使っています。
 ATMを使う時に気をつけること (マナー) はなんですか?

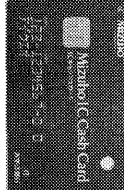
わからない時は、
家の人に相談しよう!

来週の月曜日(10/20)にもってきてください

展 開 例

学習活動	指導内容	留意点
挨拶をする。 本時の学習内容について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・号令にあわせてあいさつをすることができる。 ・前時の内容（ATMの体験と疑問点）を思い出すことができる。 ・専門家（銀行員）から返事が来たことを知り、期待感を持つことができる。 	<p>前時のワークシート 質問事項をまとめたプリント 掲示</p>
体験時の質問と回答について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・質問に対する答えを知ることができる。 <p>※</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暗証番号の考え方 ・列の並び方のマナー ・困ったときにどうするか？ <ol style="list-style-type: none"> 1. 板書のカードで確認 2. 教員と師範を見ながら確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・回答してくれた人（銀行員の写真） ・質問に対する回答を板書にまとめる(カード形式)
「ATMマナーカード」をもとに、ATMを使用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ATMマナーカード」を見ながら、個別に確認・実践することができる。 <ol style="list-style-type: none"> ① 「暗証番号について 宿題で考えた暗証番号が、同じ数字の連続になっていないか等各自チェック ② ATMコーナーでのマナーについて 列の並び方、機械を扱う時の留意点（マニュアルやメモ）について、実際に模擬ATMを利用しながら相互に確認することができる。 	<p>宿題ワークシートを生徒に配布する</p> <p>「模擬ATM」までの導線を準備する。</p>
「困った時の対応について」ワークシートにまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・教員のロールプレイを見て、意見を言うことができる。 <ol style="list-style-type: none"> ① 「知らない人に助けを求める→× ② 「ATMコーナーで携帯電話→× ③ 「インターフォンで銀行の人に聞く→○ ④ 「一度家に帰り、家の人に相談→○ <ul style="list-style-type: none"> ・わかったことを、ワークシートにまとめることができる。 	<p>ワークシート準備する</p> <p>「ATM マナーカード」</p>
次回の学習内容について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・次回学習することがわかる。 	
挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・号令にあわせて挨拶をすることができる。 	

資料4 ^{つか} ^{かた} ATMの使い方 ^{ひきだ} ^{へん} 【お引出し】編

	<p>1 お引出し ^おを押す</p>
	<p>2 キャッシュカードを^い入れる</p> 
	<p>3 ^{あんしょうばんごう} ^お暗証番号を押す</p>
	<p>4 ^{きんがく} ^おおろしたい金額を押す 「10,000円」の場合</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">1万円</p>

	<p>5 ^{きんがく} ^{かくにん}金額を確認する</p> <p>あっている → </p> <p>ちがう → </p>
	<p>6 ^ま待つ</p>
	<p>7 ^とカードを取る</p>
	<p>8 ^{かね} ^とお金を取る</p>

△ATM「マナーブック」

あんしょうばんごう 暗証番号について

使わない方がよい番号
 生年月日(せいねんがっぴ) → たんじょうび【0720】
 電話番号(でんわばんごう) → 【8255】
 「同じすうじ」や「つづきのばんごう」 → 【1111】
 【1234】

ワンポイント アドバイス！
 番号を決めたら、メモしておく
 キャッシュカードとはべつべつ

ATMでならんでいるとき

しずかにならんでまっ

お金をおろすときは

キョロキョロしない！ → あやしい人の思われる

みられないように気をつける！

わからないときは？ → ATMの使い方をみる



ATM それでも、こまったら...

ポイント1



ポイント2



ポイント3

